就職相談・適職の判定

「心身障害者職業センター」9月14日オープン

心身障害者の就職のための相談や職業に関する能力判定などの業務を行う、「心身障害者職業センター」が、きたる九月十四日にオープンします。

この「心身障害者職業センター」は、かねてから、心身障害者の方をはじめ広く関係者から設置を望まれ県と市がその誘致をし、雇用促進事業団により建設が進められてきたものです。

場所は、健康保険新潟病院前（大山二丁目）のアカシヤの緑に囲まれた高台で市が用地八百七十二平方㍍を造成し、無償で提供したものです。

建設費は、五千六百八十万円で、施設は総合相談室、個人相談室、適性検査室、身体機能測定室などで、心身障害者の相談を機能的に進められるよう配置され、建物への出入りは、身体障害者が利用しやすいよう工夫がなされ、鉄筋コンクリート平屋建てで、冷暖房設備を備えた近代的なものです。

業務の主なものは①**心身障害者の職業相談** ― 職業の選択や職業生活に支障となっている各種の問題を円満に解決するため、専門のカウンセラー、嘱託医がきめ細かい相談にあたります。②**各種検査の実施など職業能力の判定** ― 相談の結果必要に応じて、知能検査、性格検査、体力、運動検査、職業興味検査、職業適性検査、作業検査を実施し、どんな職業的能力があるかを明らかにします。さらに、年齢、学歴、家庭事情などを総合的にみて、就業の可能性を検討しながら、適職の判定をします。③**心身障害者の職場適応指導** ― 就職している心身障害者が、作業環境に適応しているかどうか、適応していなければ、その原因が心理的なものか、身体的なものかを見つけ出して取り除き、職場に適応するよう相談します。④**事業主に対する相談・指導** ― 事業主に対しては、心身障害者の受け入れに必要な作業施設や設備の改善作業補助具の備え付け、そのほか専門的なことについての相談、指導を行います。⑤**情報の収集と提供** ― 心身障害者の雇用と適職についての情報を収集し、事業主、心身障害者の方々はもちろん、広く関係機関に提供します。

そのほか、心身障害者の適職の判定などは、センターで行いますが、職業紹介は公共職業安定所で行いますので、公共職業安定所とセンターは、常に密接な連けいを図ることにしています。

一方、市内の十八歳以上の身体障害者手帳所持者は六千六十七人、精神薄弱者手帳所持者が二百六十人いますが、求職登録者数は、千六百二十人で、そのうち就業中の方は千五百十二人という状況です。

登録してない約四千七百人のうち、就職したい方もおり、センターのオープン後の利用が待たれています。

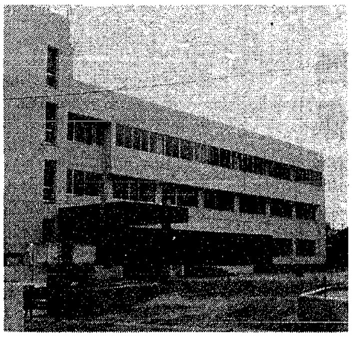
業務取り扱い時間は、平日が午前八時四十五分～午後五時、土曜日は午前中です。

〈交通〉 バスで新潟駅前から「山ノ下」行に乗り、「紡績口」下車か、古町始発の「河渡」行に乗り「大山二丁目」下車。

〈問い合わせ〉 公共職業安定所（☎44－〇一三一）県職業安定課（☎23－五五一一）、市労政課（☎28－一〇〇〇）へ

二十九日から新庁舎で業務開始

中地区事務所・公民館・図書館



今後は緑でいっぱいにしていく中地区事務所

建設を進めていた中地区事務所、公民館、図書館がいよいよ完成し、八月二十九日（月）から新庁舎（古川町四の十二）に移転し、午前八時半から業務を開始します。

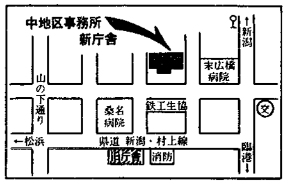
新庁舎は鉄筋三階建てで一階は中地区事務所、二階が図書館と公民館、三階が公民館となっています。

地区事務所には広いカウンターと明るい待合ロビーを設け、図書館も充実、公民館は講座室二、集会室二のほか和室、調理室も設けましたので茶道、生花、謡曲、料理など幅広い分野にわたって使えます。

身障者やお年寄りの方のために、車椅子でも入れるよう入口やトイレをスロープ化し、エレベーターを設けました。

車が約三十台入れる駐車場もできました。

中庭も築山を配置し、緑でいっぱいにしていく予定です。



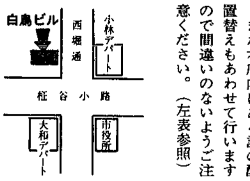
清掃部は本庁へ

白鳥ビル借上に伴う配置替え

市では、白鳥ビル（西堀前通六番町九百四の二）の借上げに伴い、部、課の配置替えを行います。

本庁にある商工労働部・農林水産部が白鳥ビルへ、分庁舎（上大川前通八番町）にある清掃業務課、清掃施設課、新幹線対策室が本庁へそれぞれ移動します。

また本庁内にある課の配置替えもあわせて行いますので間違いのないようご注意ください。（左表参照）



関係各課の新庁舎ご案内

月日	旧	新	課名
八月二十九日から	本庁5階	白鳥ビル5階	商工観光課（部長室を含む）
	〃	〃	工業振興課
	本庁4階	〃	労政課
	本庁5階	白鳥ビル6階	農林課（部長室含む）
	〃	〃	農地課
	〃	〃	水産課
九月五日から	分庁舎	本庁5階	清掃業務課（部長室含む）
	〃	〃	清掃施設課
	〃	〃	新幹線対策室
	本庁5階	本庁6階	婦人相談室（援護課）
	本庁6階	本庁4階	老人福祉課
	別館3階	本庁5階	団地建設課（室長室含む）

善意の寄付

社会福祉のために
▽匿名一▽渡部（寺尾上五）▽東プロモーション新潟支部（本間町）

交通遺児のために
▽斉藤欽也（沼垂東四）▽石橋正（学校町二）▽坂井博、黒井秀雄（東大通一）

市報 にいがた

発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(28)1000
編集人 高橋甲子
（担当市民企画部広報課）
印刷所 ㈱旭光社

市の人口

		前月比
人口	430,795	（＋137）
男	210,853	（＋63）
女	219,942	（＋74）
世帯数	134,651	（△71）

52年7月末日現在

あなたもボランティア

これからもずっと…

あずさグループ 小杉愛子（水島町）

私どもグループは県社会福祉館に通い始めて、もはや四年半位になりますでしょうか。初めはボランティアの会の方にいろいろと教えていただいて出発しました。

私どもの仕事は施設に行って直接障害者の人と接するのではなく、会館内のボランティア・コーナーで月二回ほど午前十時より午後三時まで、会館での事務のお手伝い、市民の皆様の善意で集まった衣類をそれぞれの施設に向くように分類、修理。おむつをぬったり、新しい品物は各々の施設に発送します。

いろいろの新しい小布を寄付してくださる方がありますので、それをアイディアを考えて子どものズボン、スカート、エプロン、なべつかみ、枕カバー、小物入れ、足ふきなど、ミシンをふみ、忙しく動きます。

その製品をバザーに出してその売上げの一部を行政の手の届かない施設に使っていただき喜んでいただいています。

グループの皆さん良い方ばかりで気心が知れており、この仕事を通してとても仲の良いお友達になり、針を動かしながら家庭のことや世間話に花が咲いて楽しくこの日の来るのを待って飛んできます。私なんか生活の一部になっておりまして、ほとんど休まず通っております。

また、このほかにも、フリーでビューローの方よりの依頼で時々施設のお手伝い、もぐらの家へ訪問、公民館のゆりかご学級のお守り ― と時間の許すかぎりお手伝いしております。

私どもはほんの一部ではずかしいですけど、この仕事をずっと長く続けて施設の方に喜んでいただける様に体力のつづく限り通い続けるでしょう。

私には私自身が一ばん大切
あなたにはあなた自身が一ばん大切
― それを知ったうえで
ご一緒に
ゆたかに
生きていきましょう…
（身障友の会発行「ともに生きる―身障に正しい理解を―」から）

松の手入れ講座

日時 8月25日㈭ 午後1時～4時
会場 市園芸センター（石山）
定員 70名（先着順）
受講料 無料
申し込み 電話で園芸センター（☎86－1034）へ。8月23日㈫から受け付けます。

日報園芸教室

日時 8月30日 午後1時半～
会場 農林中央金庫ホール
内容 小品盆栽の仕立て方
講師 県立新発田高校教諭 本間久雄氏
申し込み はがきで新潟日報社事業局へ（東中通1 〒951）

版画の教室

期間 9月6日～11月11日
〈昼の部〉毎週火曜日 午前10時～正午 会場＝中央公民館
〈夜の部〉毎週金曜日 午後6時～8時 会場＝市青年の家
定員 昼、夜とも各30名（先着順）
経費 教材費として3,000円程
講師 市美術協会役員 鈴木力氏（昼）
市美術協会役員 佐合敦氏（夜）
申し込み ハガキに住所、氏名、年齢、職業、昼夜の別を明記し、市社会教育課芸文係へ（〒951 西堀通6）
開講案内をもって、通知にかえます。

すずむしをプレゼント

～水族館～

8月22日（月）朝9時半から、水族館入館のお客さまにすずむしを2匹さしあげます。総数で2,000匹用意しました。なくなりしだいしめ切らせていただきます。

個人事業税 第1期分

（納期限）
昭和52年8月31日

"ご存知ですか" 交通事故相談所

交通事故によるいろいろの問題でお困りの方に専門の相談員が相談相手となり助言しています。お気軽においでください。弁護士による法律相談もあります。

相談日 日曜・祭日を除く毎日
時間 月～金曜＝午前8時半～午後5時
土曜は正午まで
場所 市役所1階市民相談室
※**弁護士相談** 毎週木曜午後1時～4時（予約制・無料）